広報 水巻

No. 210　毎月1回各家庭に配布

2月1日（昭和40年）

発行所　福岡県遠賀郡水巻町役場
発行人　西尾司
編集人　広報編集委員会（企画室内）
印刷所　冷牟田印刷合資会社
電話（代表）㊾0536

町の人口（39.12月末現在）

人口	34,107
男	17,027
女	17,080
世帯数	7,831

前月との比較
人口－195
世帯－37

69―0119
日炭専用は554
消防本部の電話

きょうから〝オトナ〟！
責任の荷物に負けたくない

成人の日座談会

成人式の終わった後で、町民会館日本間に各地区の成人代表に集まってもらい、成人を機会に、その抱負なり、希望なりを語ってもらいました。出席者はつぎのとおり。（敬称略）

頃末　中野一郎、樋口　米岡　康、上二　増田晃俊、吉田ノ二　岩崎　登、杁　馬場光子、吉田ノ三　小田サキ子、鯉口区　川畑征子、杁社宅　田中憲之、甲斐征夫、五郎丸啓子、門司充子、町青協　本田　猷、小田　徹

司会　成人おめでとう。いよいよおとなの仲間入りしたわけですが、これを機会に、みなさんの抱負なりご意見をおうかがいしたいのですが……

K　ぼくはまだ学生なので、おとなの仲間入りしたといってもピンときません。まだ子どもでいたいと思います。そのうち社会の勉強をしていきたいと考えています。社会のことは社会に出ている人より弱いと思っていますので…

これから〝おとな〟で仕事にのぞむ
行動や言葉に責任をもつ

N　今までは子ども気分で仕事をしてきたが、成人式を機会におとなとして仕事にのぞみたい。

Y　勤めだしてから1年、なんとなく成人式を迎えたが、選挙権もえたことですし、行動や言葉に責任をもちたい。

B　なにごとにも責任をもちたいと存じます。その責任の荷物に負けたくありません。

I　成人式をやってもらうとおとなになったのだなと思います。しかしまだおとなになっていないことが、よく分るのです。本当の意味のおとなになるまで勉強したい。

司会　どうです？

I　ぼくたちはいつも思うんです。おとなとわたしたちには世代の違いがあります。これは仕方がないと思います。ぼくの〝おやじ〟を例にとっても、父の考え方は分りますが、ぼくは参考にはしても、そのままでいこうとは考えません。口では神妙に〝ハイ〟とは言っていますが（笑）選挙を例にとります。ある立候補者に有名人とか有力者が運動したら、その候補者をよく知らないはずなのに当選するんです。今のおとなは信念がないなと思います。ぼくはそんなおとなになりたくないな。だから正しいことにくじけない信念を養ないたい。

世代の違いは参考にはする
―今のおとなは信念がうすい―

K　社会に出ていつも思うのですが、上役の人は部下に命令するだけでなく、自分からも進んで仕事をしてもらいたいな。自分が部下をもったら、これだけは気をつけようと今から考えてるんです。

おとなか子どもか迷う
色メガネで見てくれるな

T　今のおとなは勝手ですよ。ぼくたちを叱る時、ある時は〝おとなのくせに〟またある時は〝子どものくせに〟なんです。ぼくはおとなか子どもか、どっちなんでしょうか、おじさん。（笑声）

司会　これは手きびしい。（笑声）

T　すみません。（笑声）わたしたちもおとなになったら、そうなるかもしれませんが、もうすこし尊重してもらいたいな。

司会　はい、そういたします。（笑声）

T　いやー、あなたに言っているんじゃないです。おじさんはいいおとなです。（笑声）

M　お世辞いうなよ。（爆笑）

K　一人が悪ければ、みんなが悪いようにいう。しかしぼくたちの世代で悪いのは、ほんの一部ですし、大部分の者は向上をめざして努力し、反省もしているのです。色メガネで見てもらいたくない。

（写真　後列左から）岩崎　門司　田中　甲斐　小田　増田　中野　米岡　五郎丸　馬場　川畑

全員　そうだ。そうなんです。（一同共鳴）

学んだことと社会では矛盾が多い

T　わたしは自分ではまだおとなのような気がしないのです。それで真の意味のおとなになりたいと思いますので、聞きたいのですが……、学校で学んだことと社会に出てぶち当ったことが非常に矛盾しているんです。この場合どういと切実に思っています。

司会　具体的にどんなことがありましたか。

T　とくに官公庁にいくと、事務でこれはこうしてあげたら住民から喜ばれるのに、なぜか上司の判コにこだわり、それが結局迷惑をかけることになるのです。そういう人がいるかと思うと、テキパキと処理している人もいます。こういう人は非常にすくないようです。

学校では正しいことは押し通しなさいといわれ、ぼくもそうしようと思ってきたのですが、社会ではすくないのです。おとなはズルイと感じるのです。

純粋さは必要
考え方に弾力性を

司会　非常に微妙な、いちがいにこうだと断定できることではないような気がします。

例をあげましょう。汽車のなかで暴力団からなぐられている乗客がいたとします。誰もとめません。こわいからです。あなたは自分のことを考えると、あなたもとめにいきますまい。正しいことの立場に立つと、あなたはいくでしょう。いろいろと迷うはずです。例が適確かどうか分りませんが、なにごとを考えるにしても、事情と立場を勘案して自分で判断し、こうすると自分で決定したなら、最後までやり通すことです。結果がどうでようともそのことに自分で責任をもつことです。

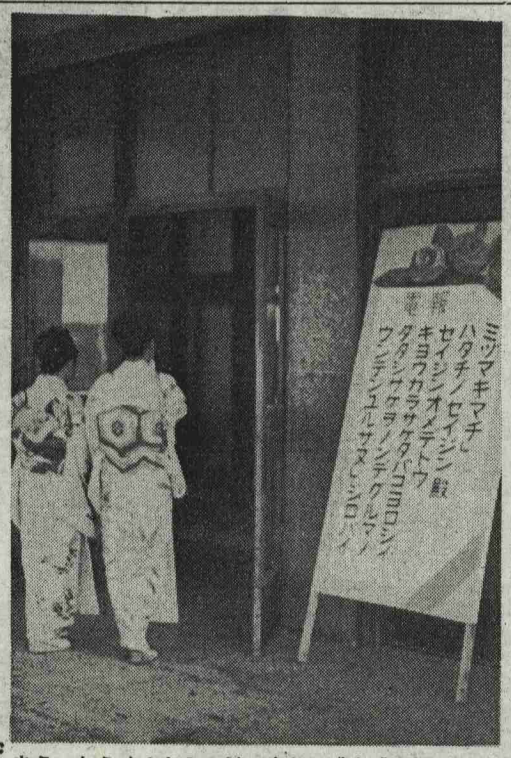
むつかしくなりましたが、顔が違うように考えも千差万別です。だから考え方にも柔軟性をもつようおすすめします。純粋さは必要ですが、それで枠をつくらないことです。ああ、こういう考え方もあったのか、しかし……と考え、自分をきたえ、自分をつくりあげるよう願っています。

官庁であなたが不満に思われた人は、おそらく規則に忠実に従ったのでしょう。規則は社会の秩序を保つ上に大切なものです。背中にある家族を思うと、無茶はできませんからね。

またあなたが感心されたかたは、世の中を明るく、より良くしようと努力される人ではないでしょうか。どちらの道を選ぶかは、それぞれ自分で選ばなければなりません。

成人おめでとう
潑剌たる身心、いつまでも

司会　どうぞ、みなさんが、健康に注意され、今日のような潑剌たる心をいつまでも、もち続けるよう祈ります。成人おめでとう。



きうょから〝オトナ〟はでやかに成人式会場へいそぐ

公明選挙でより良い政治を
―主権者の自覚に期待―

日本の政治は、主権者である私たちが自分で選んだ代表者によって運営されるしくみになっています。

したがって、選挙は政治を運営していくための基礎となる手続きであるといえます。

選挙に対する国民の自覚が高まり、正しく明るい選挙が行なわれるようになって、はじめて民主政治を軌道に乗せることができると思われます。

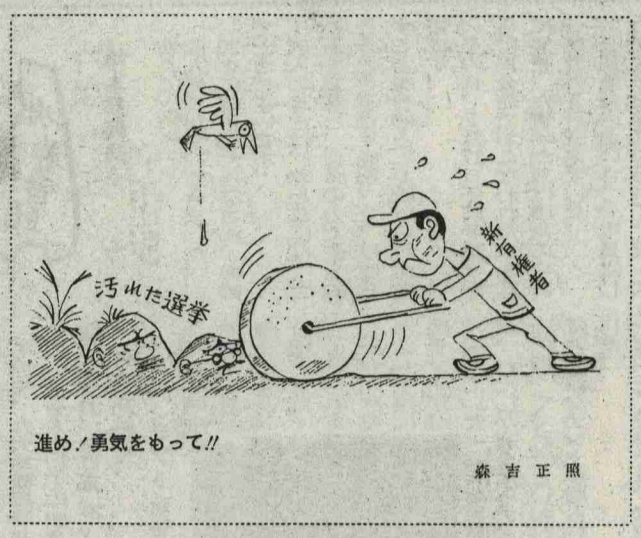
公明選挙運動は、選挙を通じてよりよい政治を実現するため、昭和27年から全国的に展開されてきております。

しかしながら、選挙の実情はまだその理想とするまでにはほど遠いものがあり、今後の一そうの努力をまたなければならない現状です。したがって、一日も早く公明選挙実現の日を迎えるためには、新らしく有権者となられる青年男女の方々の新鮮な感覚と常識に期待するところが極めて大きいのであります。

とくにことしの6月には参議院議員通常選挙が行なわれることになっており、その公明化をはかることが当面の急務になっています。

新らしく政治に参加される多くの青年男女の方々が、政治・選挙についての自覚を高めていただきたいのです。

新有権者のかたばかりでなく、一般の方々も、いま一度公明選挙の意義を考えてみたいものであります。



進め！勇気をもって!!　森吉正照

第二次陳情団22日に出発
2月上旬に調査団くるか

炭日問題

1月22日夜、町議会議員と町長9名は日炭施業案の全面認可を陳情するため上京し、このほど多大の成果を〝みやげ〟に帰町されました。これは第二次陳情団で、議会も町も日炭問題に真剣に取り組んでおります。

1月10日（日曜）午後5時から町議会第1会議室で石炭対策特別委員会が開かれました。

開会の趣旨は日炭問題の今後をどうしたらいいかを話しあうためであります。

この日、東京から地元出身の三原朝雄、多賀谷真稔両代議士を迎え、中央の情勢をお聞きしました。

まず、三原代議士が立ち「日炭問題は非常な難問をかかえ、楽観を許さない状態であるが、今後も地元のため、微力ながら努力したいから、どしどし利用していただきたい」とあいさつされ、ひきつづいて多賀谷代議士は「第一次陳情団の成果にもとづいて、第二次陳情団を1月25日頃に派遣してほしい。通常国会中に強く陳情したい。また総合調査団は2月10日前後をメドにこられる予定だ。日炭問題をさらに認識させるため、通産省、その他各関係先にはたらきかけたい」と語りました。

1月22日　議会は入江　誠副議長以下8名の議員、町側は西尾町長が上京し、第2回の陳情をおこないました。

陳情団は1月28日に帰町しましたが、多くの成果をあげられ、2月6日と7日の2日間にわたり、総合調査団が来町されることにきまりました。

寒風のなか消防出初式

表彰は古賀区の江口実子さんら

昭和40年の年頭をかざる町消防団の出初式は、1月24日午前9時30分から、水巻中学校グランドで盛大におこなわれました。

（まなじりあげて放水、この力強さこそ尊とい）

キビキビした消防団員の行動は盛大のなかにも厳しゅくな気分がただよっていました。

第4分団による小隊訓練に引き続いて、全分団のポンプ操法は寒風吹く空に力強さを見せてくれました。

また、芦屋航空自衛隊の化学消防車による訓練は、町消防出初式に花を添えたことをつけ加えておきましょう。

なお、表彰されたかたは、団員では、前田忠蔵副団長以下36名、一般人では上三の森安正義氏、吉田ノ三鯉口簡易水道組合藤崎邦雄氏、三ツ頭区ボーイスカウト隊、常盤台あべ松利光氏、吉田ノ三の加藤剣一氏、古賀区40の江口実子さんと、航空自衛隊芦屋基地の消防隊が功労者として表彰をうけました。

ご寄附ありがとうございました

つぎのかたから社会福祉協議会へご寄附いただきました。

厚くお礼申しあげますとともに謹しんでご冥福をお祈りします。

故 ソノ様　林 隆一様　宮の下
故千恵子様　落合新吾様　頃 末
故 和行様　角ヒサエ様　宮の下
故 富市様　上之園富男様　片山区
故 満 様　宮崎繁敏様　垣添町住
故謙二郎様　須藤勝英様　高尾区

「読者からの投稿」

碑を建設します　連絡をこう

むかしの歩兵第14連隊跡に記念碑を建設しようと話しあいましたが、第14連隊の出身のかたは、ご連絡くださいと、吉田ノ二の白石春雄さん、杁の室井貫蔵さんがお待ちしています。

住民のみなさん、広報水巻をご利用ください。

家庭の風

★ことしの立春は4日です。暦のうえでは、春がきても、まだまだ厳しい寒さがつづきます。暖い室内で、能率よく仕事を片づけるのもとの2月で、編みもの、ぬいもの、手芸などを計画的にすませたいものです。2月は逃げる月ともいわれ、もうすぐそこまで春がやってきています。

★4日の立春に先き立って、3日は節分です。「福は内、おには外」の豆まきは、残り少ない民俗行事の一つです。

14日は聖バレンタインの日で、キリスト教国では、この日ばかりは、女性方から男性に恋を打ち明けてよい日とされてます。

★16日は小正月で、農家ではこのごろ寒もちをつくならわしのあるところもあります。19日は「雨水」。厳しかった寒さもようやくとけて、南から湿気を含んだ風が吹きはじます。

梅の花だよりもきかれて、春はもうすぐそこにやってきています。

2月のくらし

■**2月の健康**　例年2月ごろは、流行性感冒がはやりがちです。予防注射も普及して行なわれるようになりましたが、まず家庭生活を規律的に、ウガイを励行することが大切です。

また、このごろから5月にかけて、ハシカが流行しやすいものです。ハシカはそれ自体たいした病気でないにしても、肺炎や中耳炎を併発しやすいものです。幼児は一度はかかるものなどと安易に考えないで、近所に流行しはじめたら、あらかじめ医師に相談しておきましょう。

新入学児童のいる家庭では入学前の身体検査を必ず受けさせましょう。役場から通知があるはずですが、もしなければ、問い合わせること。また種痘やジフテリア予防接種もすませておかねばなりません。

■**新入学の通学衣服計画**　新入学のこどものために、ぼつぼつ通学服のプランを考えておきましょう。はじめにあれこれ作りすぎて、校風に合わなかったり、友だちとあまりかけはなれたりしていると、こどものためにもなりません、いままで着ていたもののなかから、通学用になるものをえらんで利用し足りないものだけを新調することにしたいものです。

また制服のきまりのない中学や高校・大学へ進むこどもは、とくに女の子の場合、上級にすむにつれて、それぞれ自分の好みもでてきたり、集団の中でどのように自分の衣服を選んでいくかを、みずから決めるように仕向けることもたいせつでしょう。

■**2月の食生活**　2月という月はいちばん野菜の不足する月といえます。その中で年中やおやさんの店先きにあるのが豆もやし。とくにこの豆もやしは2月がいちばんおいしいのだそうです。生やさいの少ないときなので、このもやしに含まれているビタミンCは貴重なものです。調理する時、このCをのがさないようにするのがコツ。つまりゆですぎたり煮すぎたりしないことです。

このほかにんじんは、最近品種の改良と栽培技術の進歩で1年中食卓にのせられるようになりました。にんじんはビタミンAを含んでおり、なまで食べるのがいちばん。こどものなかには、案外このにおいをきらう子がいますが、塩もみにしてサラダに混入したり、油いためしてやるとよろこんで食べるものです。おとなにもこどもにもたくさんにんじんを食べさせてあげましょう。

みかんもそろそろ品うすになりますが、ネーブル、イヨかんが出回ります。少々値がはりますが、ビタミンCの補給源として貴重です。

■**2月の農作業**　立春もすぎ、雨水の日を迎えると、農家は春を迎える準備でいそがしくなってきます。

俵やかますなどの包装材料の作業はおすみでしょうか。水路の整理、俵理なども早目にすませておかねばなりません。

なすの温床作りとたねまき、かんらんの植付け、麦の中耕やら追肥と上旬から中旬へかけての農作業もたいへんです。

まだまだ北風の強い日も多いので十分防寒の用意をして、足腰をひやさぬ用心も肝心です。

早いところではえんどうの花が咲きはじめますが、一般にはこのころ支柱を立てる時期。さらに麦の土入れとむぎ踏み作業があります。

下旬には、トマトやきゅうりの温床作りと播種をすませておかねばなりません。一方ほうれん草やきょなどの収穫をいそいでください。

また2月はひまを見て家の周囲にも気を配る月です。垣根の修理、庭や家の周囲の立木なども、この月のうちに手を入れておきましょう。

農事小屋の整理や農機具、とくに耕うん機などの整備を十分に。

水巻音頭

成人式典終る（1月17日）

成人の日がやってきました。20才になられたみなさん、おめでとうございます。

成人の日とは、おとなになったことを自覚し、自分の力で生きぬこうとする青年を祝って、はげますことを目的として設けられたものです。

この日、1月17日午前9時半から町民会館でおこなわれた成人式に集まった青年たちは頃末の中野一郎君外3百51名でした。

公民館長のあいさつ、町長はじめ来賓の祝辞につづいて、成人代表の中野一郎君の謝辞があり式を終りました。

その後、九大助教授岩井竜也先生の「社会人としての生き方」と題して講演がありました。

故豊沢課長、テントを寄贈

役場の厚生前課長の豊沢豊氏は9月14日薬石効なく亡くなられましたが、生前から「役場にはテントがなく困っていたが、わたしが死んだらテントを記念に贈ってくれ」といわれ、このほど立派なテントが贈られてきました。

さっそく役場では、町内の行事に必要なときは、いつでも使ってください とお待ちしています。

【"お座敷小唄"で慰問の幼女に拍手】

日本舞踊、母子寮を慰問

水巻町母子寮は日本舞踊で大喜びでした。

これは中間市九採の桜木幸子さんが、お弟子さんたち10名を連れて1月10日慰問にこられたからです。4才から60才までの日本舞踊団の熱演は午後1時から4時まで続きました。

日頃、母と子で楽しむことのすくない人たちにとっては本当に楽しい一日でした。

桜木さんの話「喜んでもらって嬉しい。それだけでいいのです。養老院でも、（また来てください）といわれた時、きっと来ますと心に誓いました。」

朝日駅伝に郷土チーム頑張る

去る1月10日の新春に、朝日駅伝がおこなわれました。

福岡市～北九州市の門司文化会館前までの8区間1百13キロメートルのコースを、22チームが激しいレースを展開しました。

郷土のチーム遠賀体協はマラソン友好者が集まってつくったチームであります。

全国有数のチームのなかで、よく健闘し、アベベばりの健走ぶりでした。目標記録より期待以上の成績でありました。

水巻町からは、頃末の武尾一三君が7区（頃末―八幡中央区）まで走りました。ノビノビとした郷土のチームの姿でした。

町議会から寸志

困窮世帯などへ

昨年暮れ、議会においては、緊就事業に働いておる人や、生活保護世帯など貧しい家庭に、せめて餅代の一端にでも、ということで、正副議長を中心に話しあいましたが、ご承知のとおり町の財政状態では一般町費からの支出ができず、いろいろ協議をしました。

ところがたまたま一般職員の給与などのベースアップに伴なう財源と同じく、議員報酬のベースアップの財源も国から交付されております。日炭の施業問題で、町は重大な危機に直面しており、また国民健康保険税の値上げ、水道料金の値上げなどで多大のご無理を申し上げておる現状でもありますので、議員報酬のベースアップはさしひかえるべきだという内々の方針を定めておりました。

この際、この財源を貧づしい人たちに、議会から寸志として贈ってはと、早速、執行部や民生委員さんの協力もお願いして緊就労務者、生保世帯等貧しい家庭にささやかではありますが金一封を贈ることにしました。

水道料、他町村なみに改正

漏水はご連絡を

水道料金が昨年の12月分から改正され、他町村なみになりました。10㌧まで3百10円、超過料は1㌧につき33円になりました。町もみなさんのご期待にそうよう修理なども速くするようにしております。

各家庭の引近管は本管や準本管より配管されていますが、量水器（メーター器）より家庭側の漏水については家庭の負担となります。本管、準本管や量水器までの引込管の漏水は町が負担します。

この漏水が多くなると町の水道会計が苦しくなり、みなさんにご迷惑をおかけする結果になりますので、パイプの破損等に気づかれた場合はすぐに役場までご連絡ください。お願いします。

公認業者協定価格表

亜鉛引瓦斯管 経別	G.P（m円）	消耗品	工費	計
15A（½）	170	50	160	380
20A（¾）	210	55	175	440
25A（1）	290	65	190	545
40A（1½）	450	73	210	730
50A（2）	620	90	240	950

塩化ビニール管 経別	G.P（m円）	消耗品	工費	計
13mm	50	25	140	215
20〃	70	30	150	250
25〃	120	40	160	320

器種	型状寸法	13A	20A	25A
分水栓	甲LP	400	740	950
〃	乙LP	400	740	1.200
止水栓	甲LP	480	870	1.240
メーターユニオン	―	105	180	280
メーターBOX	13A~20A	490		
〃	25A	1,200		
止水栓BOX	13A~25A	335		

器種	型状寸法 径別		
分水サドル	75A	360	
	100A	480	
	150A	780	
	200A	1.300	
	250A	1.850	

器種	型状寸法 径別	
給水栓	13m/m	360
	20m/m	590
自在栓	13m/m	530

(1) CM取付工　13m/m～20m/m　780円　25m/m　930円
(2) EP分水工　75m/m～150m/m　1,000円　200m/m～250m/m　1,400円
(3) GP分水工　13m/m～25m/m　930円　40m/m～50m/m　1,090円

備考 (1) 材料は総て水道規格品にして水道係検査合格のものとする。
(2) 継手塩は別途計上する。

標準歩掛修理単価　（1人当り）

時間	歩掛	1日 1,300円	時間	歩掛	1日 1,300円
0.5	0.063	82	4.5	0.563	732
1.0	0.125	163	5.0	0.625	813
1.5	0.188	226	5.5	0.688	894
2.0	0.250	325	6.0	0.750	975
2.5	0.313	407	6.5	0.813	1,057
3.0	0.375	488	7.0	0.875	1,133
3.5	0.438	569	7.5	0.938	1,219
4.0	0.500	650	8.0	1.000	1,300

(1) 給水栓ケレップ取替工　60円
(2) 止水栓ケレップ取替工　120円
(3) 給水栓（カラン）取替工　120円
(4) 止水栓取替工　250円

※ (1)、(2)は材料を含む。
(3)、(4)は給水栓、止水栓は別途計上の事。

町内転居も役場に届けを

※入学通知書、選挙関係の通知などが迷い子になります。